



朝飯トレイルにボランティアで参加していた皆さん。左から山内紀子さん、島田さん、山田さん

け抜けました。開催は今年で2回目。地域の女性たちも昨年に続きイベントに協力し、地元でとれた果物などをランナーに振る舞いました。

「この集落は15戸ほどでさみしいもんだったばってん、こがん人が集まっつてにぎやかになるとは思ってもみませんでした」と島田悦子さん。「展望広場ができる前は手つかずの雑木林で、イノシシのすみかだったよ。そりゃあ立派なイノシシさんたちが来訪しよらしたよ」と冗談を交えて話すのは山田友子さんです。

3人が口をそろえて自慢するのは、展望広場から眺める夕日の景色と町の夜景。「香港の100万ドルの夜景にも負けとらんけん」と山田さんは胸を張って笑いました。



西村町長（左から2番目）と濱田副町長（右）も朝早くから大会を見守っていました



10月25日（土）に開催された「朝飯トレイル」のスタッフの皆さん。会場は楽しい雰囲気でも盛り上がりつつありました

「福と暮らしている内に、愛犬とキャンプを楽しむ場所があったらいいなと思うようになって。きっかけは、展望広場の造成が始まったことですかね。その隣の雑木林だった実家の畑跡に、狭いけれども1組限定でプライベートキャンプを楽しめる空間を作れたらと思ったんです」と振り返ります。

ここではテントや食料の持ち込みOK。道具のレンタルも可能で手ぶらで楽しむこともできます。予約で

谷川展望広場のすぐ隣に、今年4月にオープンした1日1組限定のキャンプ場「MANTEN（まんてん）」があります。愛犬と一緒にキャンプが楽しめる施設で、専用のドッグランも用意されています。

早期退職を機にキャンプ場を開設したというオーナーの安尾幸春さん。その最大の理由は愛犬の福ちゃんにあるようです。「福は保護犬で、娘の友人から保健所で保護されたこの子を知り引き取りました。当時は衰弱しおびえていましたが、すっかり元気になって私や妻にべつたりです」と、足元にまとわりつく愛犬に目を細める安尾さん。

愛犬と楽しむ キャンプ場

受け付けているバーベキューなどの食材は、中学時代からの友人で津森地区で「焼肉のもりかわ」を営む森川さんが協力してくれているそうです。「素人ながら始めたんですが、友人たちの手助けが心強いです」と安尾さんは笑顔を見せます。

大気が澄みきったこの季節、この場所から見上げる満天の星の輝きはきっと、忘れられない思い出を刻んでくれることでしょう。



上 / 愛犬と一緒にキャンプを楽しめる「MANTEN」
左上 / 「MANTEN」のオーナーの安尾さん
左 / 安尾さんのそばから離れない、愛犬の福ちゃん

谷川地区には、熊本地震で表れた布田川断層帯が残されています。平成30（2018）年に国の天然記念物に指定された国内でもまれな断層で、保存整備が完了した昨年4月から一般公開が行われています。

それに伴い、かつて雑木林だった



金峰山や普賢岳を望む。谷川展望広場からの眺めは圧巻

高台の圧巻の眺め 秋の希少なお客様

場所には谷川展望広場の整備が進められています。トイレや駐車場も広く完備されており、教育旅行での布田川断層帯見学コースの一つにもなっています。

ちょっとそこまで！

わがまち散歩

Wagamachi Sankou

vol.54

たにこう 谷川 編



一般公開がされている谷川地区の布田川断層

何と言っても高台からの眺めは圧巻で、益城町の地形の一部を把握することが出来ます。また金峰山はもとより、快晴の日には遠く長崎・普賢岳も望め、江津湖や町の花火大会のビュースポットとしても人気を集めています。

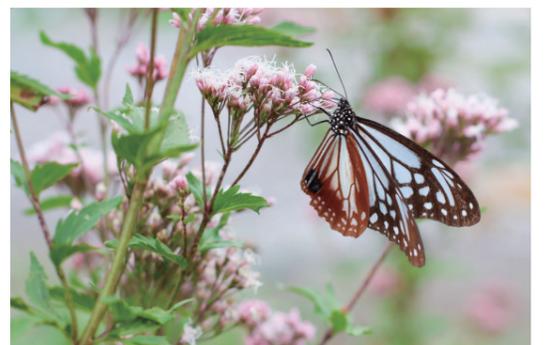
短い秋が過ぎ、吐く息も白くなったこのごろ。それでも快晴の日はポカポカと暖かく、散歩日和に恵まれます。

今回の散歩の目的地は、谷川地区。小さな集落で織りなされてきた心の交流に触れました。

「香港の夜景にも負けとらん」

去る10月25日（土）、ここで「ましき朝飯（ちよういらい）超良い」トレイルのイベントが開催されました。町内外、県外からもランナーが参加し、布田川断層帯を見学した後、展望広場を皮切りに朝来山から飯田山への約25キロメートルのコースを駆

また、ここでは季節ごとの花々を楽しむことができます。春はシダレザクラやシバザクラ、初夏はフジ。そして秋には、フジバカマの花を求め、遠く台湾から海を越えて渡ってくるチョウ・アサギマダラにも出会えます。



秋になると台湾から渡ってくるチョウ・アサギマダラの姿を見ることができます